あの日から50年…

1975年12月14日　さようなら蒸気機関車

※写真は実車でイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

C57-135 & 室蘭本線225列車

High Grade　N GAUGE
C57のみ

◆実車ガイド

- C57形はC55形の後継となる旅客用蒸気機関車として登場した旅客用機関車で、全国各地の幹線・亜幹線で活躍しました
- 1872年10月14日の鉄道開業以来動力車の中心を担ってきた蒸気機関車は戦後の動力近代化により数を減らし、1975年12月14日の室蘭本線225列車を最後に旅客列車けん引から姿を消しました
- 国鉄最後の蒸気機関車けん引旅客列車にはC57形が充当され当日はC57-135がヘッドマークを取り付けたうえで所定より4両増結された8両編成の客車で組成された225列車をけん引しました
- 同年12月24日には夕張線での最後の蒸気機関車けん引貨物列車運行翌1976年3月2日には9600形による追分駅構内入換仕業が終了したことで保存機を除いた営業用蒸気機関車が引退し、動力近代化が達成されました

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴＜2012＞C57-135

- ハイグレード(HG)仕様
- 1975年12月14日の室蘭本線225列車をけん引した際の135号機を再現
- キャブ窓は開いた状態を新規製作で再現
- 現役時代の装備を再現可能な増炭枠の部品をランナーパーツの新規製作で再現
- ランボードに白線が入った姿を再現
- メインロッドのみに赤色の入った姿を再現
- ナンバープレートは別パーツ付属「C57-135(黒地・赤地)」
- ヘッドマーク「さようならSL」付属
- フライホイール付モーターをボイラー部の中に搭載
- ヘッドライトは常点灯基板装備
- 本体・炭水車のヘッドライトは点灯式(補助灯は非点灯)
- キャブ明かり窓は開閉可能
- 解放テコは別パーツで再現(前後共)
- 炭水車の標識灯は一体式でレンズは別パーツを取付済み
- 重連運転用前部カプラー付属
- テンダー用ATS車上子は別パーツ付属

＜特記事項＞

- 通過半径はC280以上となります
- ＜2003＞は生産中止となります

◆製品化特徴＜98893＞室蘭本線225列車セット

- 1975年12月14日に室蘭本線室蘭-岩見沢間で走行した、C57-135けん引による国鉄最後の蒸気機関車けん引旅客列車である225列車を再現
- 絞り折妻形状のオハ35-714を新規製作で再現
- オハフ62は車掌室側貫通扉が木製で窓が大形の形状を新規製作で再現
- 全車両二重窓の客用窓を印刷で再現
- 塗装はオハ35-714のみ青色、その他は茶色で再現
- 車番は印刷済み
- テールライトは常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付で
- オハフ33-1031、オハフ62-13は車掌室側が点灯、オハフ62-10は
- トイレ側が点灯
- 新集電システム、黒色車輪採用

＜特記事項＞

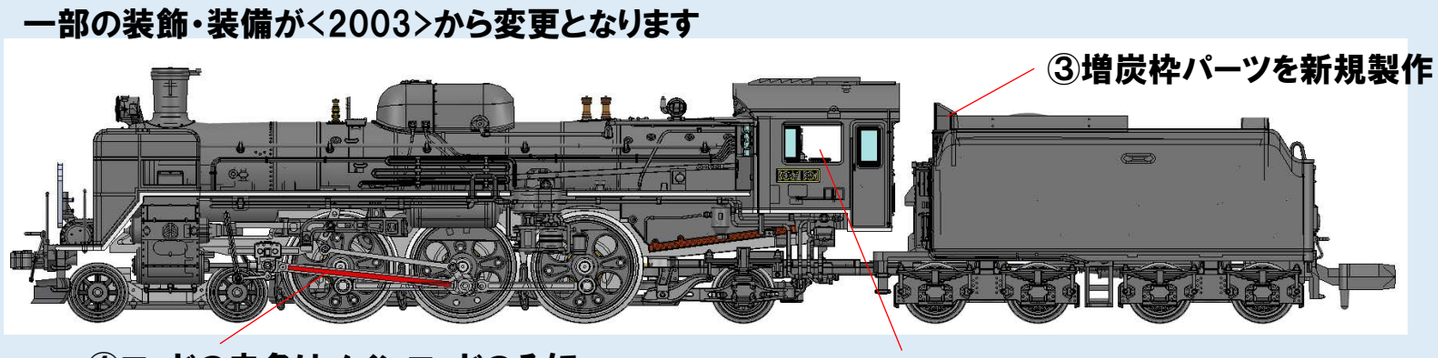
- 金型の都合上一部形状が実車と異なります

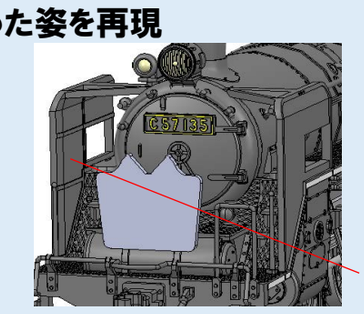
＜別売りオプション(客車セットのみ)＞
TNカプラー　:＜0373＞自連形
室内灯　:＜0733＞LC白色
＜0734＞LC電球色
交換ドアセット:＜0893＞＜0894＞Hゴム窓青
＜0891＞＜0893＞Hゴム茶青

◆ここがポイント

POINT:1

C57-135は1975年12月14日に運行された際の姿を再現！
一部の装飾・装備が＜2003＞から変更となります





POINT:2

室蘭本線225列車セットはオハ35形を緩急車化改造したオハフ33-1031と、絞り折妻と呼ばれる車端部が絞られ鋼板屋根となった形状のオハ35-714を新規製作！

※画像は実車および試作、開発中のものです　実際の製品仕様と異なる場合があります

■セット内容・編成例

●室蘭本線225列車(1975年12月14日)

品番	2012	品名	国鉄 C57形蒸気機関車(135号機)	セット両数	1 両
発売月	2025年12月	JANコード	4543736020127	予価	¥20,680 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	225×30×65mm	パッケージ形態	クリアケース
品番	98893	品名	国鉄 室蘭本線225列車(さようならSL)セット	セット両数	8 両
発売月	2025年12月	JANコード	4543736988939	予価	¥26,620 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218×304×34mm	パッケージ形態	ブック型プラケース

JR東日本商品化許諾済

©TOMYTEC ※製品は、実車の型式・仕様とは異なる場合もありますのでご了承をお願いいたします。 ※イラスト・写真などは製品と一部異なる場合があります。